

2025年3月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社ヤマダホールディングス
2024年11月8日





HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

決算ハイライト

YAMADA HLDGS.

売上高

7,960億円

前期比 102.7%

売上総利益

2,288億円

前期比 101.5%

営業利益

232億円

前期比 114.1%

経常利益

248億円

前期比 105.0%

親会社株主に帰属する
中間純利益

127億円

前期比 96.4%



- 4月**
- 住建** 【ヒノキヤグループ】北海道初 全館空調「Z空調」搭載展示場 オープン
 - 住建** 【ヤマダホームズ】 YAMADA スマートハウス Hyundai の新型 EV「KONA」とのセット販売を開始
 - ホールディングス** オンラインギフトプラットフォーム「Giftmall（ギフトモール）」を運営する
(株)ギフトモールとの資本業務提携に関する基本合意書を締結
- 5月**
- ホールディングス** 家電流通業界に特化した AI ロボティクスサービス創出に向けてavatarin(株)との業務提携を締結
 - デンキ** 「Tecc LIFE SELECT 福山店」オープン
- 6月**
- デンキ** 家電のサブスクサービス「ヤマダビジネスレンタル」サービス提供開始
- 7月**
- デンキ** GHG 排出量算定・可視化ソリューション「Zeroboard」を導入
 - 環境** 山口県山口市と「企業進出に関する協定」を締結_家電リユース工場を新設により地域産業の活性化に貢献
 - 住建** 【ヒノキヤグループ】新設木造住宅の「気密測定」全棟で実施_高気密住宅の提供を一層強化
- 8月**
- 住建** 【ヤマダホームズ】20年初期保証付きカスタマイズ型注文住宅「RASIO（ラシオ）」発売
- 9月**
- デンキ** 【ヤマダデンキ】昭和西川「羽毛ふとんリフォーム」全国のヤマダデンキ LIFE SELECT 店 にて受付開始
 - ホールディングス** 昭和西川「羽毛ふとんリフォーム」による廃棄物削減の取り組みを『YAMADA GREEN』に認定



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

連結P/L【中間期】

YAMADA HLDGS.

成長戦略の実行と経費コントロールの推進により営業利益計画を達成

(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	計画	売上比	計画比	前期実績	売上比	前期比
売上高	796,001	100.0	798,500	100.0	99.7	775,203	100.0	102.7
売上総利益	228,841	28.7	234,600	29.4	97.5	225,570	29.1	101.5
人件費	91,159	11.5	93,606	11.7	97.4	90,996	11.7	100.2
広告宣伝費	10,611	1.3	11,075	1.4	95.8	10,652	1.4	99.6
地代家賃	37,795	4.7	38,449	4.8	98.3	37,697	4.9	100.3
減価償却費	10,035	1.3	10,479	1.3	95.8	9,919	1.3	101.2
リース料及びリース減価償却費	788	0.1	816	0.1	96.6	944	0.1	83.4
その他	55,223	6.9	57,572	7.2	95.9	54,993	7.1	100.4
販売費及び一般管理費	205,613	25.8	212,000	26.5	97.0	205,204	26.5	100.2
営業利益	23,227	2.9	22,600	2.8	102.8	20,365	2.6	114.1
営業外収益	5,200	0.7	5,450	0.7	95.4	5,386	0.7	96.6
営業外費用	3,596	0.5	2,450	0.3	146.8	2,112	0.3	170.2
経常利益	24,831	3.1	25,600	3.2	97.0	23,639	3.0	105.0
特別利益	226	0.0	0	0.0	—	3,164	0.4	7.2
特別損失	3,389	0.4	3,000	0.4	113.0	3,917	0.5	86.5
法人税等合計	8,804	1.1	8,700	1.1	101.2	9,222	1.2	95.5
非支配株主に帰属する中間純利益	92	0.0	300	0.0	30.9	415	0.1	22.3
親会社株主に帰属する中間純利益	12,772	1.6	13,600	1.9	93.9	13,248	1.7	96.4

✓ 今期実績：営業外費用において、円高による為替差損が発生した関係で12億円を計上しています

✓ 前期実績：特別利益において、固定資産売却益等により31億円を計上しています

※事業会社によって連結対象月は異なります。また、内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります



第 2 四半期：販促増強・営業強化により猛暑で需要が集中した前年を上回る売上を達成

	第1四半期 [4-6月]						第2四半期 [7-9月]					
(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期差	前期比	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期差	前期比
売上高	379,103	100.0	363,709	100.0	15,394	104.2	416,897	100.0	411,493	100.0	5,404	101.3
売上総利益	114,744	30.3	111,212	30.6	3,532	103.2	114,096	27.4	114,357	27.8	△ 261	99.8
人件費	44,307	11.7	44,401	12.2	△ 94	99.8	46,851	11.2	46,594	11.3	257	100.6
広告宣伝費	5,145	1.4	5,497	1.5	△ 352	93.6	5,466	1.3	5,154	1.3	311	106.0
地代家賃	18,754	4.9	18,670	5.1	83	100.4	19,041	4.6	19,026	4.6	14	100.1
減価償却費	4,977	1.3	4,857	1.3	120	102.5	5,058	1.2	5,062	1.2	△ 4	99.9
リース料及びリース減価償却費	382	0.1	460	0.1	△ 77	83.0	406	0.1	484	0.1	△ 78	83.8
その他	26,831	7.1	26,252	7.2	578	102.2	28,391	6.8	28,741	7.0	△ 348	98.8
販売費及び一般管理費	100,397	26.5	100,139	27.5	258	100.3	105,216	25.2	105,065	25.5	150	100.1
営業利益	14,346	3.8	11,072	3.0	3,273	129.6	8,880	2.1	9,292	2.3	△ 412	95.6
営業外収益	2,932	0.8	2,894	0.8	37	101.3	2,268	0.5	2,492	0.6	△ 223	91.0
営業外費用	1,168	0.3	955	0.3	213	122.4	2,427	0.6	1,157	0.3	1,269	209.7
経常利益	16,110	4.2	13,011	3.6	3,098	123.8	8,721	2.1	10,627	2.6	△ 1,905	82.1
特別利益	226	0.1	3,124	0.9	△ 2,897	7.3	0	0.0	40	0.0	△ 40	-
特別損失	406	0.1	100	0.0	305	404.4	2,983	0.7	3,817	0.9	△ 834	78.1
法人税等合計	6,179	1.6	5,345	1.5	833	115.6	2,624	0.6	3,876	0.9	△ 1,251	67.7
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	0.0	198	0.1	△ 63	68.1	△ 42	0.0	216	0.1	△ 259	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,616	2.5	10,491	2.9	△ 874	91.7	3,155	0.8	2,757	0.7	398	114.4

※事業会社によって連結対象月は異なります。また、内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

セグメント別業績 サマリー

YAMADA HLDGS.

デンキ・住建・金融・環境の4セグメントが増収・増益

(単位：百万円・%)	売上高				営業利益			
	当期実績	前期実績	前期差	前期比	当期実績	前期実績	前期差	前期比
デンキセグメント	658,542	644,661	13,880	102.2	22,173	20,230	1,942	109.6
住建セグメント	126,615	120,019	6,595	105.5	△ 885	△ 1,382	496	-
金融セグメント	2,289	1,773	515	129.1	649	215	434	301.7
環境セグメント	16,931	16,319	611	103.7	827	756	71	109.4
その他セグメント	12,530	12,807	△ 276	97.8	386	468	△ 81	82.6
連結合計	796,001	775,203	20,798	102.7	23,227	20,365	2,861	114.1

※住建セグメントが営業赤字：8億円とありますが、これは当社住宅事業の特性によるものです

当社住宅事業は年度後半に売上・利益が集中しており、下期以降に向けて、この営業赤字は解消される見込みです

※事業会社によって連結対象月は異なります

また、内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります



2025年 3 月期 第 2 四半期

部門別売上高

YAMADA HLDGS.

第 2 四半期も継続してエアコン、住宅・リフォーム等が全体をけん引

(単位：百万円・%)		当期実績	構成比	前期比	前期実績	構成比	構成比増減
家電	カラーテレビ	45,689	5.7	99.6	45,858	5.9	△ 0.2
	ビデオ・DVD	8,434	1.1	89.3	9,445	1.2	△ 0.2
	オーディオ	9,873	1.2	110.1	8,966	1.2	0.1
	冷蔵庫	63,763	8.0	95.1	67,025	8.6	△ 0.6
	洗濯機	58,004	7.3	97.5	59,498	7.7	△ 0.4
	調理家電	29,756	3.7	102.6	29,000	3.7	△ 0.0
	エアコン	84,997	10.7	108.0	78,687	10.2	0.5
	その他の冷暖房器具	7,421	0.9	96.9	7,661	1.0	△ 0.1
	工事	41,627	5.2	112.1	37,137	4.8	0.4
	その他 ※1	105,013	13.2	102.9	102,090	13.2	0.0
小計		454,580	57.1	102.1	445,372	57.5	△ 0.3
情報家電	パソコン	42,418	5.3	94.0	45,137	5.8	△ 0.5
	デジカメ	7,713	1.0	100.7	7,656	1.0	△ 0.0
	パソコン周辺機器	18,827	2.4	94.3	19,956	2.6	△ 0.2
	携帯電話	57,859	7.3	112.4	51,492	6.6	0.6
	その他 ※2	16,547	2.1	94.0	17,606	2.3	△ 0.2
小計		143,365	18.0	101.1	141,848	18.3	△ 0.3
住宅関連 ※3		142,855	17.9	106.3	134,373	17.3	0.6
家具・インテリア		22,147	2.8	101.8	21,762	2.8	△ 0.0
AVソフト・GMS他		33,051	4.2	103.8	31,845	4.1	0.0
全体売上高		796,001	100.0	102.7	775,203	100.0	0.0

集計区分について

※1
【家電 その他】
健康関連商品
理美容商品
クリーナー
サービス関連売上等

※2
【情報家電 その他】
パソコンサブライ
パソコンソフト
電話機・FAX
DOS/V等

※3
【住宅関連】
住宅・リフォーム関連等

※事業会社によって連結対象月は異なります



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

デンキセグメント P/L

YAMADA HLDGS.

季節需要の取り込みとリフォーム・家具等の「くらしまるごと」の提案強化により、増収・増益

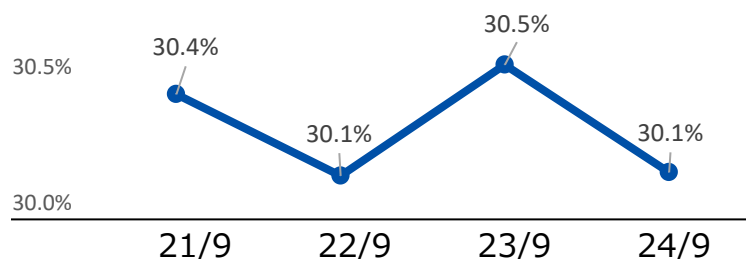
(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期比
売上高	658,542	100.0	644,661	100.0	102.2
売上総利益	197,910	30.1	196,718	30.5	100.6
人件費	72,876	11.1	73,408	11.4	99.3
広告宣伝費	8,245	1.3	8,889	1.4	92.8
地代家賃	35,245	5.4	35,067	5.4	100.5
減価償却費	9,294	1.4	9,107	1.4	102.0
リース料及びリース減価償却費	600	0.1	753	0.1	79.7
その他	49,475	7.5	49,262	7.6	100.4
販売費及び一般管理費	175,737	26.7	176,488	27.4	99.6
営業利益	22,173	3.4	20,230	3.1	109.6
営業外収益	4,734	0.7	4,810	0.7	98.4
営業外費用	3,421	0.5	2,086	0.3	164.0
経常利益	23,485	3.6	22,954	3.6	102.3

※事業会社によって連結対象月は異なります ※内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります



外部要因により売上総利益率は低下するも、処分品売価の見直しにより、販売差益は改善

【売上総利益率の推移】



下期の方針

- ✓ SPAの原価見直しと新商品開発を実施し粗利の向上を図る
- ✓ リフォーム・家具インテリアの拡販強化でMIXでの粗利率伸長を推進

上期 増減要因

商品構成比の変化	冷蔵庫の売上高減少（95.1%）に伴う、粗利率低下 一方、リフォーム・家具等「くらしまるごと」商品提案による、粗利の下支え
処分品の売価設定	長期滞留在庫の処分売価の見直しで、粗利率改善
その他、会計処理	顧客サービスの拡大・売上伸長を目的としたポイント販促強化に伴う 収益認識会計基準適用による、粗利率低下



HLDGS.

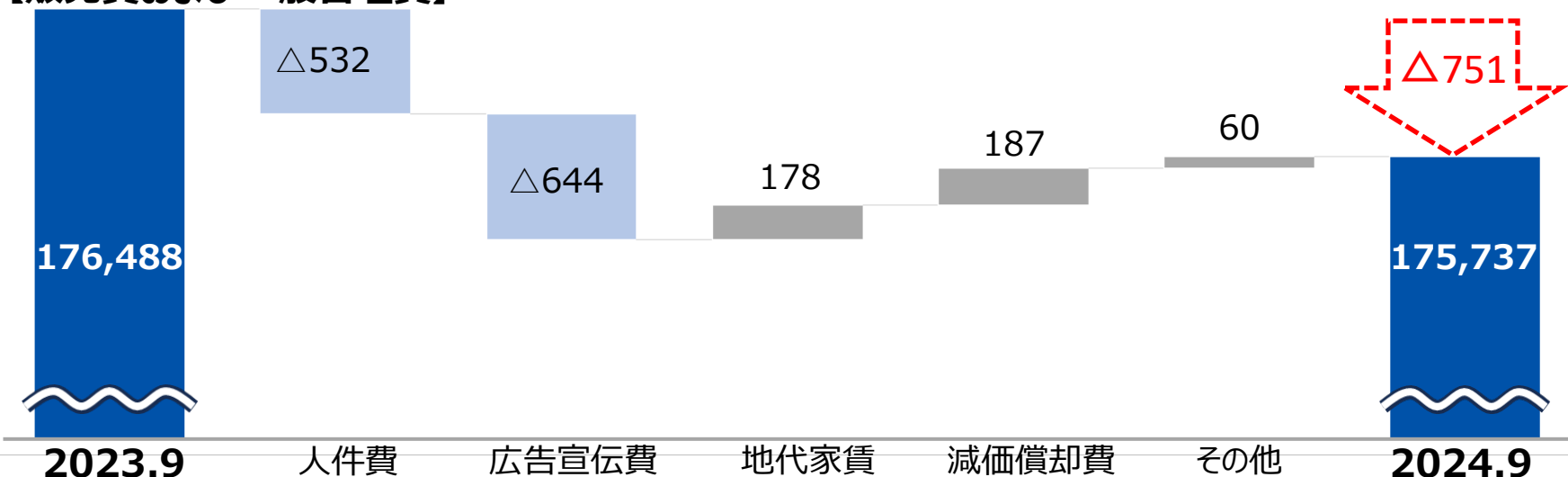
2025年3月期 第2四半期

デンキセグメント 販管費

YAMADA HLDGS.

LIFE SELECT 50万人商圈 店舗統廃合及びデジタル販促への転換により経費の上昇を抑制

【販売費および一般管理費】（単位：百万円）



上期 増減要因

人件費	人件費前年比 99.3%（従業員数：約95%、残業時間：約80%） 従業員数の減少は店舗統廃合、人員の配置改善で補完 営業時間の見直し・縮小や業務分散・精査によるシフトの最適化で残業時間を削減
広告宣伝費	デジタル広告への転換（+1.1億円） / 紙チラシ見直しによる削減（△6.9億円）
地代家賃	新規出店による増加（+10億円） / 店舗統廃合による地代削減（△8.2億円）
減価償却費	新規出店及び改装（LIFE SELECTへの業態変更）による増加



LIFE SELECTをコアとして「くらしまるごと」戦略は着実に伸長

ヤマダデンキ 業態別店舗数

LABI	15
LIFE SELECT	33
(LABI LIFE SELECT)	(6)
(Tecc LIFE SELECT)	(27)
YAMADA web.com	29
Tecc.Land	545
家電住まいる館	16
アウトレット・リユース専門店	48
インショップ型店舗	26
Tecc Land (小商圈)	74
地域密着型	154
PC専門店	7
家具専門店	15
ドラッグ専門店	1
合計	963

▲ 2024年9月末時点

■ LIFE SELECT 推移

(単位：店・%)	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
店舗数(店)	18	28	32	33
売上構成比 ^{*1}	3.9	13.2	16.3	16.5
リフォーム・インテリア 売上構成比 ^{*2}	8.8	10.0	10.6	11.6
粗利構成比 ^{*2}	20.2	23.0	23.6	24.4

* 1：国内直営店舗総売上に対する割合

* 2：LIFE SELECT全店舗総売上・粗利に対する割合



▲ Tecc LIFE SELECT 湘南平塚店 (2024年10月25日 オープン)



HLDGS.

ヤマダホールディングスの成長戦略

LIFE SELECTをコアとした業態別エリア「店舗開発」の積極的推進②

YAMADA HLDGS.

LIFE SELECTをコアとした店舗開発を継続 地域売上シェアの確保と収益性向上を推進

出店実績および計画

(単位：店・%)			新規出店 * 1 (LIFE SELECT)	増床率 * 2 ※退店影響除く	増床率 * 2 ※退店影響含む	退店数	期末店舗数
2024年3月期	実績	通期	23 (4)	4.5	1.6	46	975
2025年3月期	計画	通期	20 (4)	3.5	—	—	—
	実績	第2四半期	11 (1)	1.6	0.9	21	963

* 1 : 増床を伴う改装オープン店舗を含む (2023年度：1店舗 / 2024年度：2店舗)

「期末店舗数」の増減に関わる新規出店 (2023年度：22店舗 / 2024年度：9店舗)

* 2 : 前期末の売場面積対比

出店店舗一覧

店名	都道府県	出店日
Tecc.Land セブントウン小豆沢店	東京都	7月5日
Tecc.Land New久留米中央店	福岡県	7月12日
Tecc.Land ゆめが丘ソラトス店	神奈川県	7月23日
Tecc.Land New会津若松店	福島県	8月23日
Tecc.Land スーパービバホーム長津田店	神奈川県	9月13日

《施策》

- 2024年3月期より、店舗の統廃合を推進
- 退店店舗の人員を、新店等へ配置転換



《施策による効果》

- 配置転換先での生産性
及びパーヘッド向上
- 追加採用の人件費抑制



HLDGS.

ヤマダホールディングスの成長戦略

デンキセグメント 事業セグメント進捗

YAMADA HLDGS.

若干の進捗遅れがあるものの各種取り組みの実践で売上構成比の高い下期での挽回を図る

主な成長戦略事業（2025年3月期 第2四半期）

	(単位：百万円・%)	当期実績	前期実績	前期比	通期計画	進捗率
ネット・TVショッピング		44,661	40,330	110.7	100,000	44.7
リフォーム / 家具・インテリア（大塚家具含む）		52,178	48,310	108.0	114,000	45.8
法人		28,028	27,130	103.3	65,000	43.1
合計		124,867	115,770	107.9	279,000	44.8

《成長戦略》 具体的取り組み・継続内容

ネット事業 ・ TVショッピング事業

- ・AI導入における購買率の向上と当社の幅広の取扱い商品とのシナジー効果を発揮
- ・オウンドメディアの効果的運用
- ・メディアミックスの有効活用と家電、家具・インテリア、リフォーム等、他社にない「くらしまるごと」の商品提案

リフォーム事業 家具・インテリア事業

- ・ヤマダならではのオリジナル商品開発
- ・家電＋リフォーム・家具インテリアのワンストップ生活シーン提案
- ・更なるDX化で訪問不要の現調を実施 / リフォーム見積り作成・契約迄の効率化
- ・LIFE SELECT店舗インフラ活用による家具・インテリアの品揃え拡充

法人

- ・ヤマダグループのインフラを活用した法人向け「ヤマダビジネスレンタル」の推進
- ・法人顧客従業員向け特典付与「法人デジタル会員」拡大



HLDGS.

ヤマダホールディングスの成長戦略

創業50周年記念モデル・SPA商品の積極的開発

YAMADA HLDGS.

創業50周年記念モデル・SPA商品の更なる開発で他社との差別化・シェアアップを図る

家具・インテリア領域においても、SPA商品に加え、製品メーカーと協同でPB商品を投入

従来の製品に比べてクオリティの高い商品を
価格戦略、ポイント戦略を工夫のうえ提供

取り扱いアイテムの拡大によりさらなる売上・利益の最大化を図る

創業50周年記念モデル

	実績	通期計画比(%)
アイテム数	128	106.6
売上高(百万円)	24,591	61.4



**パナソニック製エアコン
「エオリアVXYシリーズ」**
エオリアで唯一除湿力の高い「再熱除湿」を搭載、また、ナノイーXでお部屋の有害物質を抑制



日立製スティッククリーナー
本体、延長パイプ、ヘッドそれぞれの構造や素材などを工夫し標準質量1.1kgの軽量と強い吸引力を実現

SPA・当社オリジナル商品

	今期実績	前期実績*
売上構成比(%)	6.0	5.8
粗利構成比(%)	12.3	12.1

* 前年の通期売上実績における割合



エアコン RIAIR 2024
家族にやさしいクリーン機能を搭載
さらに、換気機能搭載モデルでクリーン＆フレッシュ



ウルトラファインバブルシャワーヘッド
微細な泡が毛穴の奥の汚れもきれいに洗浄
スタンダードと水流調整モデルの2モデルを展開



HLDGS.

ヤマダホールディングスの成長戦略

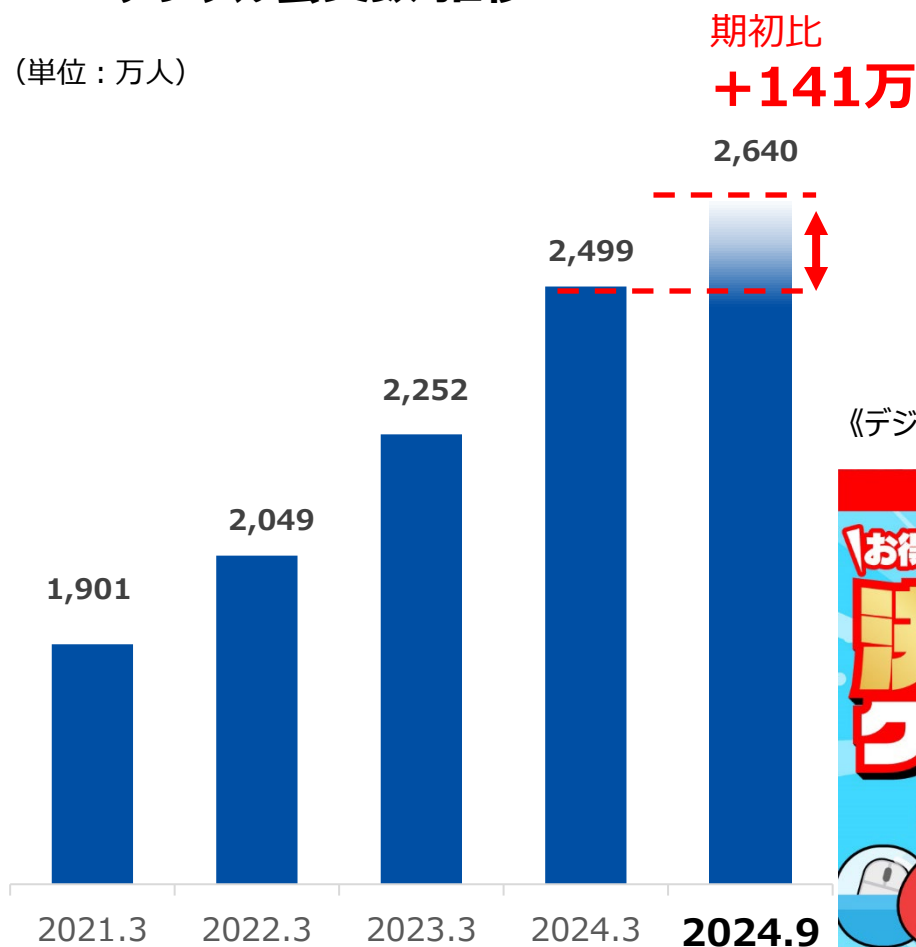
デジタル会員 会員向け販促のデジタルシフト

YAMADA HLDGS.

デジタル会員数は着実に伸長 デジタル販促の展開で更なる顧客化を推進

デジタル会員数 推移

(単位：万人)



デジタル会員向け施策の積極実施による売上貢献効果

- 一人当たり年間購入回数
ポイントカード会員比：約1.2倍
- 一人当たり年間購入金額
ポイントカード会員比：約1.7倍

《デジタル会員向け アプリ販促》





HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

######



HLDGS.

2025年 3 月期 第 2 四半期

住建セグメント 事業別業績 サマリー

「くらしまるごと」戦略のもと ヤマダホームズが大きく伸長しヒノキヤグループの一時的減益をカバー

売上高					営業利益			
(単位：百万円・%)	今期実績	前期実績	前期差	前期比	今期実績	前期実績	前期差	前期比
ヤマダホームズ	42,185	33,966	8,219	124.2	△ 1,431	△ 2,288	857	-
住宅事業	31,119	24,920	6,199	124.9	△ 2,086	△ 2,727	641	-
中古再販事業	8,474	6,074	2,400	139.5	455	173	282	262.5
ヒノキヤグループ	55,270	58,765	△ 3,495	94.1	△ 126	730	△ 856	-
住宅事業	36,314	38,225	△ 1,912	95.0	△ 1,730	△ 1,380	△ 350	-
断熱材事業	13,113	13,158	△ 45	99.7	849	1,381	△ 531	61.5
不動産投資事業	4,443	5,880	△ 1,437	75.6	652	564	88	115.7
ハウステック	29,894	30,055	△ 161	99.5	954	900	54	106.0

※ 各社主要事業のみ抜粋しています

※ 各項目の合計は、各社実績の数値と異なります



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

住建セグメント 受注実績 / 計画進捗

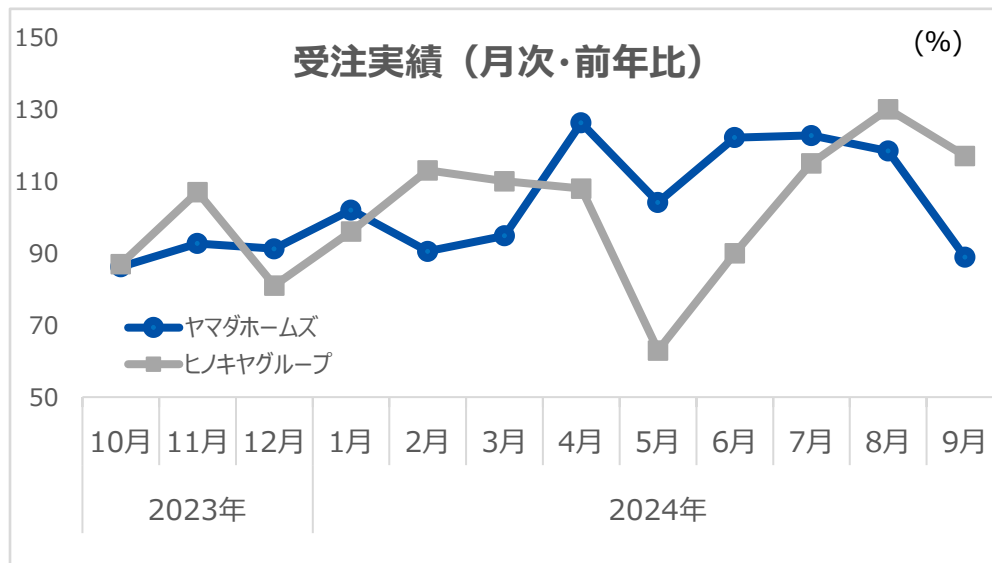
YAMADA HLDGS.

分譲住宅が大幅に伸長 / 着工・完工管理の徹底で下期の業績確保を推進

■受注実績 (2025年3月期 第2四半期)

(単位: 百万円・%)	今期実績	前期実績	前期差	前期比
ヤマダホームズ	43,955	36,352	7,603	120.9
注文住宅	27,391	23,883	3,508	114.7
(受注残高)	59,029	53,035	5,994	111.3
分譲住宅	10,007	6,838	3,169	146.3
リフォーム	3,463	3,700	△ 238	93.6
中古再販	3,094	1,931	1,164	160.3
ヒノキヤグループ	48,408	48,693	△ 285	99.4
注文住宅	40,837	42,444	△ 1,607	96.2
(受注残高)	64,934	67,935	△ 3,001	95.6
分譲住宅	6,324	4,507	1,817	140.3
リフォーム	1,247	1,742	△ 495	71.6

※事業会社によって連結対象月は異なります



■売上高・通期計画進捗率 (2025年3月期 第2四半期)

(単位: 百万円)	売上高	進捗率	今後の取り組み・対策
ヤマダホームズ	42,185	40.1%	・土地の積極取得による注文・建売販売の増加 ・各種販売キャンペーン及びグループインフラを生かした販売戦略の実施 ・新商品RASIOの拡販、好調な中古再販事業への積極的投資 ・OBリフォーム強化（保証更新RF+太陽光、蓄電池提案、ローン借換提案等）
ヒノキヤグループ	55,270	36.8%	・今期は注文住宅の完工が例年以上に第4四半期に集中する計画 ・着工から完工迄の工事工程管理の徹底及び、原価コントロールで粗利率改善を図る ・注文住宅の外構工事提案を強化し単価向上・売上拡大を図る ・防水施工や機密測定等の提案するクロスセルと断熱上位等級需要の高まりを取り込む

(単位: 百万円・%)	今期実績	売上高 前期実績	前期比	今期実績	営業利益 前期実績	前期比
ヒノキヤグループ 通期着地見込み	146,000	142,123	102.7%	7,680	7,481	102.7%

ヒノキヤグループは
通期 増収増益を見込む



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

金融セグメント P/L

YAMADA HLDGS.

当社グループの住宅・リフォーム事業と連携したローン実績が伸長し増収・増益

(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期比
売上高	2,289	100.0	1,773	100.0	129.1
売上総利益	2,073	90.6	1,567	88.4	132.3
人件費	625	27.3	628	35.4	99.6
広告宣伝費	40	1.8	26	1.5	150.9
地代家賃	49	2.2	46	2.6	106.1
減価償却費	2	0.1	2	0.2	83.5
リース料及びリース減価償却費	0	0.0	2	0.1	9.9
その他	705	30.8	645	36.4	109.3
販売費及び一般管理費	1,423	62.2	1,352	76.3	105.3
営業利益	649	28.4	215	12.2	301.7
営業外収益	46	2.0	63	3.6	73.1
営業外費用	63	2.8	32	1.8	196.4
経常利益	632	27.6	246	13.9	256.6

※事業会社によって連結対象月は異なります ※内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります



HLDGS.

2025年3月期 第2四半期

環境セグメント P/L

YAMADA HLDGS.

大型家電・PCのリユース事業が好調に推移し増収・増益

(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期比
売上高	16,931	100.0	16,319	100.0	103.7
売上総利益	2,743	16.2	2,545	15.6	107.8
人件費	891	5.3	837	5.1	106.4
広告宣伝費	10	0.1	8	0.1	120.2
地代家賃	223	1.3	217	1.3	102.9
減価償却費	38	0.2	33	0.2	114.2
リース料及びリース減価償却費	39	0.2	39	0.2	100.1
その他	712	4.2	652	4.0	109.2
販売費及び一般管理費	1,916	11.3	1,789	11.0	107.1
営業利益	827	4.9	756	4.6	109.4
営業外収益	570	3.4	556	3.4	102.6
営業外費用	29	0.2	19	0.1	152.8
経常利益	1,368	8.1	1,293	7.9	105.8

※事業会社によって連結対象月は異なります ※内部取引相殺等のため、セグメント別実績を合算した数値と連結実績は異なります

【免責事項】

本資料に記載されている情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、当社が判断した種々の前提及び仮定に基づいたものであり、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、実際の結果と大きく乖離する可能性や客観的には不正確である可能性があり、そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。

また、記載された将来の計画や予想、目標数値、施策等の実行を確約または保証するものではありません。

実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な不確定要因により、計画数値と異なる可能性があります。

本資料の内容は、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

株式会社ヤマダホールディングス及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害または損失に対して理由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

※本資料の無断使用・譲渡・複製・転載を禁じます。